

体験農園だより

7月上旬に起きた集中豪雨による被害で、畑の近くを流れる用水路が氾濫し、カボチャと体験農園の畑に大量の水が流れ込みました。

ちょうど研修生は、愛知県にあるオイスカ中部日本研修センターへの視察交流研修で外泊していた最中でしたので、残されたスタッフで必死になって豪雨後のカボチャの救出作業や排水作業を行いました。

救出されたカボチャは、冷蔵庫に保管されるまでに半分近くが腐ってしまい、もうすぐ収穫を迎えるところまでできていたスイカの木も半分近くが枯れてしまいました。

それでも体験農園の野菜たちは何とか持ちこたえて、今でもナスやピーマン、トマトの実をならしています。今回の豪雨では、福岡市内でも特にセンターのある脇山地区は被害が多く、センターの裏山だけでなくいろいろなところでがけ崩れがありました。

身近な所で起きた今回の被害に対し、今後どのように備えを進めていけばよいのか、改めて考える機会となりました。(豊田副所長)



豪雨により体験農園は池になりました。

研修の感想

佐賀県に本部がある、認定 NPO 法人地球市民の会スタッフの神崎涼子と申します。西日本センターで7月10日から24日まで、農業研修に参加させていただきました。農業の知識も経験もなく、あらゆることが初めてで、先生方や研修生たちにたくさん教えてもらう毎日でした。

母国を離れて日本で頑張る研修生たちを見て、目標を持つこと、それに向かって学び、経験を重ねることが大切だと感じました。また、オイスカの活動を知る中で、“国際協力とは何か”ということ改めて考える機会となりました。

私は今秋からミャンマーに赴任し、農業技術普及プロジェクトに携わる予定です。2週間という短い期間でしたので、農業のほんの一部しか学べていませんが、今後も勉強を続け、現地の人たちの笑顔がたくさん見られるような活動をしていきたいと思っています。

夏のお忙しい時期にも関わらず研修を受け入れてくださり、大変お世話になりました。本当にありがとうございました！



紙芝居をしている神崎さん

赤坂公民館積み木広場

7月15日、赤坂公民館で積み木広場を開催し、地域の子供たち約30名が遊びに来てくれました。センターからはベトナム研修生のタンさんやスタッフが参加しました。間伐材から作ったたくさんの積み木を子供たちの身体に乗せていく“積み木シャワー”でスタートし、約2時間、みんな思い思いの作品を作っていました。積み木の形は3種類だけなのですが、お城や船などを次々と作り上げていて、子供の発想力は無限大だなあと感じました。間伐についてのオイスカオリジナル紙芝居もみんな興味津々に聞いてくれました！(神崎 涼子)



技能実習先のご紹介

【株式会社正興電機製作所】

福岡市博多区東光2丁目7番25号
☎ 092-473-8831

情報と制御の独創技術で未来を創造する

Creating the future through original technologies in information and Control

(株)正興電機製作所は、1921年に創業し「最良の製品・サービスを以て社会に貢献す」を社是として掲げ、堅実な経営、人材育成を基礎として時代を招く技術の開発を続けてこられました。コアな事業である電力、環境エネルギー分野の更なる事業拡大を推し進めるとともに、情報と制御の独創技術で新製品・新事業の創出に取り組み、環境にやさしく安全で快適な社会のインフラ(基盤)構築に貢献をされておられます。またオイスカの法人会員として長年にわたりご支援をいただき昭和43年にオイスカの研修生を初めて受け入れていただきました。また2年前よりマレーシアの技能実習生1名が福岡県古賀市にある正興電機古賀事業所で明るく元気に日々技術を学んでおります。帰国後はマレーシアの正興エレクトリックアジアで勤務することになっており期待も大きく、今年も新たにマレーシアから1名の技能実習生が正興電機製作所に入ることになっています。(満川)



株式会社正興電機製作所 古賀事業所



・技能実習生 ラハマン(マレーシア)
・正興電機製作所
有吉人材活性推進グループ長

博多祇園山笠追い山ならし見学

7月12日(水)福岡リハビリライオンズのご招待で博多祇園山笠追い山ならしの見学をしました。伝統ある日本の古典をモチーフにした飾り山笠を担ぎ「オイサー」という掛け声に合わせて勇壮に走る各流れをカメラに収め、終始楽しく見学をさせていただきました。また事前に博多祇園山笠について同クラブの岡部先生より講義をしていただくなど研修生達は歴史あるお祭りの意義についての理解も深まり日本滞在中の良き思い出になったことと思います。

ご招待いただきありがとうございました。(満川)



櫛田神社にて記念撮影

大野城交流会

7月1日に大野城市の国際交流団体 TOMORROW の16名と交流会を行いました。最初に野菜の収穫をして、次に多国籍料理を作りました。今回はカンボジアのスープ、モンゴルのホーショール、メキシコのタコスをつくりました。初めての料理交流で少し時間がかかりましたが、美味しい料理が出来ました！食べた後はレクリエーション。毎年恒例の椅子取りゲームを楽しみにしていたのですが、椅子が悪くなるということで急遽椅子取りゲームのルールで軍手取りゲームをしました。(左の写真が盛り上がりを物語っています。)短い時間でしたが内容の濃い交流が出来ました！(園田)



研修生達と一緒にゲームをした様子



研修生達との料理交流会

長崎県推進協議会・佐世保視察

7月18日(水)に長崎県推進協議会山下会長(堀内組社長)からの招待で、ブルーベリーとマンゴーのハウス栽培、白浜工業の塗装工場、坂本木工の加工所、東部重工のバケット製造工場、直売所の見学に行きました。研修生達は農業と工業の最新技術を見て驚いている様子でした。その中でも果物のハウス栽培が印象に残っていました。ブルーベリーとマンゴーはポットに植えられ、土を使わずにスポンジのようなものを使って栽培していました。国へ帰ってからブルーベリーを育ててみたいと話す研修生も何名かいます。

坂本木工ではオイスカのロゴマークを自動化された工作機器を使って目の前で作っていただき、カンナを使った木の加工も体験させていただきました。

お忙しい中、見学をさせて下さってありがとうございました！(園田)



ブルーベリーを美味しく食べているインドネシア研修生のエエルさんです。



坂本木工でオイスカのロゴを作っている様子

研修生の紹介コーナー ②



みなさん、こんにちは！！ Batzaya Bayasgalan です。ニックネームはザヤです。モンゴルから来ました。環境保全型農業技術コースの研修生です。趣味はテニス、バレーボールと詩を読むことです。8月15日に24歳になります。日本での目標は日本人と自由に話すことです。自分で来ている国は面白いと思いますのでたくさん話をしたいと思います。だから日本語をもっと勉強をしたいと思います。



?? ザヤさんに聞いてみましょう ☺

- モンゴルの事を知られたいこと！
- ☛ 伝統的な移動式住居のもとです。ゲルという家です。ゲルは円の形で、

中心の柱(2本)によって支えられた骨組みをもち、屋根部分には中心から放射状に梁が渡され、移動するとき家を解体します。いくつかの部材をわけて運びます。部材の重量は250~300kgです。

ゲル



- 日本はどうですか？
- ☛ 日本の生活はとても便利です。なんでもあると思います。景色が素敵です。そして美味しい食べ物がたくさんあります。

ラクダ



- 好きな言葉
- ☛ 活力を配る。いつも要請。。

こんにちは～！ フィジーから来ました。Amit Umendra Prasad です。ニックネームはアミットです。32歳です。環境保全型農業技術コースの研修生です。趣味はサッカー、小説を書くことです。日本料理の中でてんぷらが一番好きです。日本では美味しい果物が沢山あります。日本での目標は色々な農業機械を勉強したいです。



?? アミットさんに聞いてみましょう ☺

- フィジーのおすすめの場所！
- ☛ バトゥレールのレッドプローン (Vatulele's Red Prawn)、バトゥレールは赤いエビの伝説で知られています。島民はエビを大切に扱います。そして神聖なものとみなし、どんな方法でも殺したり傷つけたりすることは禁じられています。伝説の記録によれば、だれかがそれを取り去ろうとすると難破船に遭うといわれています。



- 日本はどうですか？
- ☛ コーヒーとご飯が美味しいです。
- 好きな言葉
- ☛ ありがとうございます～！

バトゥレールのレッドプローン

